

問題 1 A-2-2 : 医の倫理に関する規範（ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言）を概説できる。

ヒトを対象とする医学研究における倫理原則を記載したのはどれか。

- A. シドニー宣言
- B. ジュネーブ宣言
- C. ヘルシンキ宣言
- D. ヒポクラテスの誓い
- E. 臓器の移植に関する法律

問題 2 C-2-1)-① : 歯科医師法を概説できる。

歯科医師法において歯科医業を始められるのはどれか。

- A. 歯科大学を卒業したとき
- B. 保険医に登録されたとき
- C. 歯科医籍に登録されたとき
- D. 歯科医師国家試験に合格したとき
- E. 歯科医師国家試験合格証書を受領したとき

問題3 C-4-1)-③ : 口腔疾患の疫学的指標を説明できる。

18歳の男性。前歯部からの出血を主訴に来院した。初診時の口腔内写真を示す。

主訴に関連する口腔内の状態を評価する指標はどれか。



- A. DMF
- B. def
- C. CFI
- D. RID指数
- E. PMA指数

問題4 C-4-2)-③ : 調査方法と統計的分析法を説明できる。

小学1年生からフッ化物洗口を実施した児童たちと実施しなかった児童たちに対し5年後にう蝕有病者率を調査した。

この研究の調査方法はどれか。

- A. 断面調査
- B. 全数調査
- C. コホート調査
- D. 後ろ向き調査
- E. 患者対象調査

問題 5 D-1-1)-② : 糖質の構造、機能および代謝を説明できる。

交感神経刺激後で血中濃度が上昇するのはどれか。

- A. 脂肪酸
- B. ケトン体
- C. ガルコース
- D. アルブミン
- E. コレステロール

問題 6 D-1-4)-② : 細胞間と細胞・マトリックス間の接着分子を説明できる。

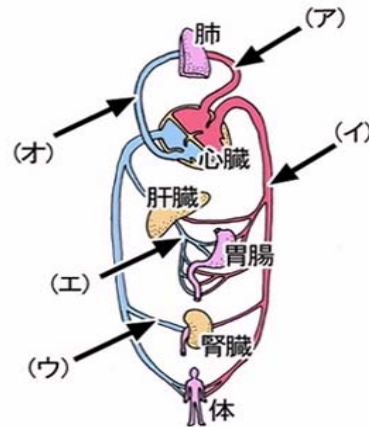
細胞膜に存在する接着分子はどれか。

- A. ラミニン
- B. デコリン
- C. コラーゲン
- D. インテグリン
- E. ビトロネクチン

問題 7 D-2-3)-(3)-② : 肺循環と体循環の 2 系統を説明できる。

ヒトの身体の肺循環と体循環の模式図を示す。
門脈はどれか。

- A. (ア)
- B. (イ)
- C. (ウ)
- D. (エ)
- E. (オ)



出典情報 著者名: 佐田勉太郎 著
タイトル: 図解 200 種 歯学系 公開問題を 2007 年度に改定
社: 株式会社 歯学系 公開問題を 2007 年度に改定
出版年: 2007 年

問題 8 D-3-1)-④ : 細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫の形態学的特徴と生理学的性状を説明できる。

細菌の電子顕微鏡写真を示す。
矢印で示す構造物の機能はどれか。

- A. 分裂
- B. 付着
- C. 転写
- D. 運動
- E. 代謝



2007 共用試験 歯学系 CBT 公開問題

問題 9 D-3-1)-② : 細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトの対する感染成立の機序とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。

毒素型食中毒の原因菌はどれか。

- A. コレラ菌
- B. チフス菌
- C. 腸炎ビブリオ
- D. ボツリヌス菌
- E. サルモネラ菌属

問題 10 D-3-1)-④ : 化学療法の目的、原理および作用機序を説明できる。

核酸合成を阻害する化学療法薬はどれか。

- A. キノロン系
- B. ポリエン系
- C. ペニシリン系
- D. テトラサイクリン系
- E. クロラムフェニコール系

問題 1 1 D-4-2)-② : 化生を説明できる。

慢性歯性上顎洞炎で組織学的に粘膜上皮層の一部に重層扁平上皮が認められた。

この変化はどれか。

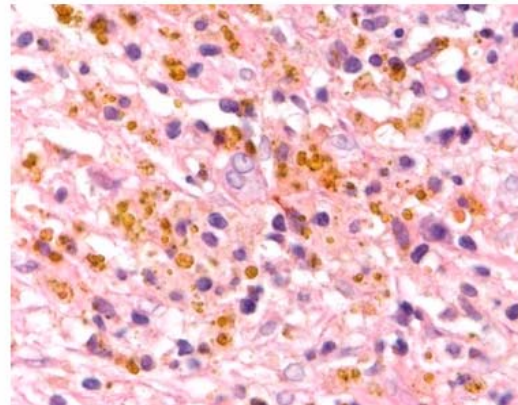
- A. 肥大
- B. 再生
- C. 化生
- D. 器質化
- E. 過形成

問題 1 2 D-4-3)-② : 出血の原因、および転帰を説明できる。

1 週前に頬部を打撲し、内出血を起こした部位に変色をきたした。病変部の上皮下の病理組織像(強拡大)を示す。

組織内に散在する褐色の顆粒はどれか。

- A. メラニン
- B. アミロイド
- C. リボフスチン
- D. ヘモジデリン
- E. ケラトヒアリン



問題 1 3 D-4-5)-① : 腫瘍の定義を説明できる。

悪性腫瘍細胞の特徴はどれか。

- A. 核小体が小さい。
- B. 細胞質が濃染する。
- C. 細胞は大小不同である。
- D. 母組織との類似性が強い。
- E. 核・細胞質比(N/C)が小さい。

問題 1 4 D-5-3)-① : 薬物の適用方法の種類とその特徴を説明できる。

薬物の経口投与の一般的な特徴はどれか。

- A. 緊急時に適している。
- B. 作用持続時間が短い。
- C. 血中濃度の上昇が遅い。
- D. 初回通過効果を受けない。
- E. 水に難溶性の薬物は使用できない。

問題 15 E-1-①：高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。

金合金に含まれる銅の役割はどれか。

- A. 合金の白色化
- B. 耐食性の向上
- C. 引張強さの増加
- D. 溶融温度の上昇
- E. 再結晶温度の上昇

問題 16 E-2-②：歯科用石膏の種類と特徴を説明できる。

石膏の硬化時間を長くするのはどれか。

- A. 高い室温
- B. 大きな混水比
- C. 速い練和速度
- D. 長い練和時間
- E. 硫酸カリウムの添加

問題 17 F-1-2)-⑤ : エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。

歯科用エックス線装置のヘッド部の構造を模式図に示す。

る過板はどれか。

- A. (ア)
- B. (イ)
- C. (ウ)
- D. (エ)
- E. (オ)

問題 18 F-1-2)-⑦ : 口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影を行い、読影できる。

上顎右側大白歯部のエックス線写真を示す。

矢印で示すのはどれか。

- A. 下顎頭
- B. 筋突起
- C. 下顎切痕
- D. 上顎結節
- E. 翼状突起

問題 19 F-1-3)-(3)-⑥ : 局所麻酔時の合併症を説明できる。

25歳の男性。「8」を抜歯するために下顎孔伝達麻酔を行った。
その直後に顔面紅潮、多弁、血圧上昇および頻脈が認められ、痙攣が発現してきた。

考えられる病態はどれか。

- A. 過換気症候群
- B. 局所麻酔薬中毒
- C. 神経(原)性ショック
- D. ストヘモグロビン血症
- E. 局所麻酔薬アレルギー反応

問題 20 F-1-4)-③ : 抜歯に必要な器具の用法と基本手技説明できる。

口腔の小手術用器具を写真に示す。

用途はどれか。

- A. 歯の脱臼
- B. 骨の削除
- C. 粘膜の切開
- D. 粘膜の剥離
- E. 抜歯窩の搔爬



問題 2 1 F-2-1)-② : 咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機を説明できる。

下顎骨の写真を示す。

矢印で示す部位に付着する筋はどれか。

- A. 咬筋
- B. 側頭筋
- C. 顎舌骨筋
- D. 内側翼突筋
- E. 外側翼突筋上頭



問題 2 2 F-2-4-(1)-② : 歯の外傷と顎顔面骨折の原因と種類を列挙できる。

30歳の男性。転倒でオトガイ部を強打して来院した。エックス線検査では下顎正中部に1本の骨折線を認めた。初診時の口腔内写真を示す。

疑われる骨折の種類はどれか。

- A. 複雑骨折
- B. 直達骨折
- C. 病的骨折
- D. 不完全骨折
- E. 若木骨折

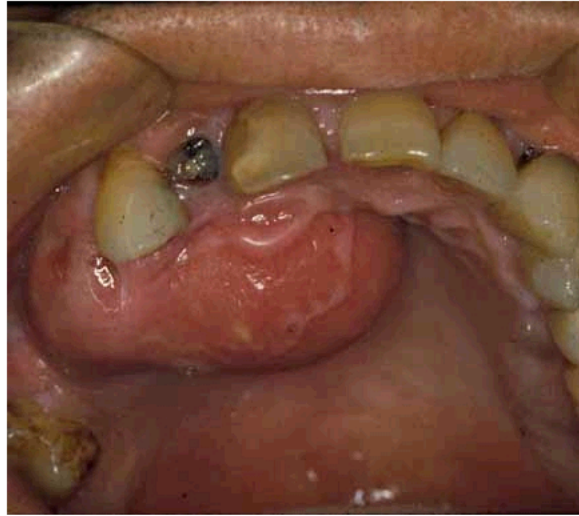


問題 2 3 F-2-4)-(2)-⑦：一般的な消炎療法の意義と特を説明できる。

65歳の男性。口蓋右側の腫脹を主訴に来院した。2年前に2上の歯冠が破折し、放置していたが、1週間前から疼痛と腫脹が発現したという。腫脹部には波動を触知する。試験穿刺で黄白色の内容物を吸引した。初診時の口腔内写真を示す。

まず使用する薬物はどれか。

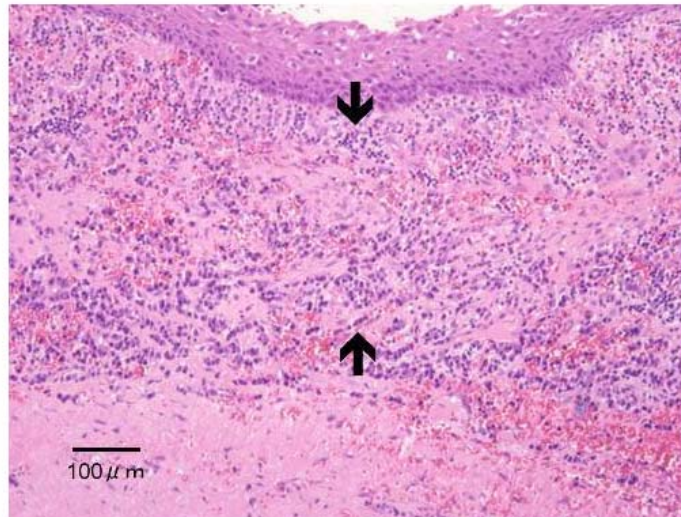
- A. 含嗽薬
- B. 抗菌薬
- C. 抗真菌薬
- D. 抗ウイルス薬
- E. 副腎皮質ステロイド薬



問題 2 4 F-2-4)-(3)-④：顎骨に発生する歯原嚢胞（含：歯根嚢胞、含歯性嚢胞、歯原性角化嚢胞）を概説できる。

歯根嚢胞摘出標本の病理組織像を示す。矢印の間にみられる所見はどれか。

- A. 歯槽骨組織
- B. 重層扁平上皮
- C. 嚢胞腔内滲出物
- D. 炎症性肉芽組織
- E. 癒痕線維性組織



問題 2 5 F-2-4)-(3)-⑦ : 歯原性腫瘍の種類と特徴を挙げる。

11歳の女兒。「3の萌出遅延を主訴に来院した。初診時のエックス線写真を示す。
矢印が示すのはどれか。

- A. 過剰歯
- B. 骨腫
- C. 歯原性粘液腫
- D. 集合性歯牙腫
- E. エナメル上皮腫



問題 2 6 F-3-1)-② : 歯種類の形態と特徴を説明できる。

歯の中央部頬舌方向の断面を写真に示す。
考えられる歯種はどれか。

- A. 上顎第一小白歯
- B. 上顎第一大白歯
- C. 下顎第一小白歯
- D. 下顎第二小白歯
- E. 下顎第一大白歯



問題 27 F-3-1) -⑤ : 歯周組織の発生、構造および機能を明できる。

歯の模式図を示す。
外胚葉に由来するのはどれか。

A. (ア)
 B. (イ)
 C. (ウ)
 D. (エ)
 E. (オ)

問題 28 F-3-2) -④ : 歯周疾患の病原と病態を説明できる。

40歳の女性。根分岐部は歯間ブラシを頬側から舌側まで貫通させて清掃しているという。「6」のエックス線写真を示す。

根分岐部病変の分類で正しいのはどれか。

A. Lindheの分類1度
 B. Lindheの分類2度
 C. Lindheの分類3度
 D. Glickmanの分類1級
 E. Glickmanの分類2級

問題 29 F3-3)-(2)-1: 歯髄・根歯周組織疾患の症状、診断および治療方法を説明できる。

ラバーダム防湿時に使用する器具を写真に示す。

装着部位はどれか。

- A. 上顎前歯
- B. 上顎小白歯
- C. 下顎小白歯
- D. 上顎大白歯
- E. 下顎大白歯



問題 30 F-3-3)-(2)-③: 歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。

54歳の女性。「3」の疼痛を主訴に来院した。3日前から拍動性の自発痛があるという。「3」は冷温刺激に持続痛があり、歯髄電気診で閾値の上昇を認めた。初診時のエックス線写真を示す。

診断名はどれか。

- A. 歯髄充血
- B. 急性歯髄炎
- C. 慢性潰瘍性歯髄炎
- D. 慢性増殖性歯髄炎
- E. 歯髄壊疽



問題 3 1 F-3-3)-(3)-② : 歯周疾患の診断と治療方針を説明できる。

57歳の女性。上顎前歯の動揺と歯肉の腫脹を主訴に来院した。±±±は歯周ポケットが4~6mmで、咬頭嵌合位をとらせると唇側に移動する。初診時の口腔内写真(ミラー像)を示す。

口腔清掃指導とともに優先して行うべき処置はどれか。

- A. 薬物の局所投与
- B. 歯肉剥離搔爬術
- C. 歯肉切除術
- D. 矯正治療
- E. 咬合調整



問題 3 2 F-3-3)-(3)-⑥ : 歯周疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。

50歳の男性。「6」頬側中央部の歯肉の疼痛を主訴に来院した。頬側中央の歯周ポケットは7mmで、ポケット測定時に排膿が認められた。初診時の口腔内写真とエックス線写真を示す。

病変部の精査に用いるのはどれか。

- A. 照射器
- B. キュレット
- C. 分岐部探針
- D. エキスカベーター
- E. ポケットマーカー



問題 3 3 F-3-4)-(1)-② : 修復材料と修復法の種類と特徴およびその適応を説明できる。

可視光線重合型コンポジットレジンを用いたⅤ級修復で、マトリックス圧接を行う理由はどれか。

- A. 歯髄刺激を防止する。
- B. 歯肉圧排を容易にする
- C. 形態付与を容易にする。
- D. 色調適合性を向上させる。
- E. 光照射の時間を短縮できる。

問題 3 4 F-3-4)-(1)-③ : 修復法に関する模型上での基本的操作ができる。

1] 硬質レジン前装铸造冠のワックスパターンを写真に示す。

次に行う作業はどれか。

- A. 窓開け
- B. 铸造
- C. 前装
- D. グレージング
- E. 口腔内試適



問題 35 F-3-4)-(1)-④ : 修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。

21歳の女性。上顎左側前歯部の着色を主訴に来院した。
1、2、3の隣接面う蝕と診断し、光重合型コンポジットレジンを用いて修復を行うことにした。初診時の口腔内写真を示す。

窩洞形成後の修復に必要な前処置はどれか。

- A. 歯面研磨
- B. 隔壁装着
- C. 歯肉排除
- D. スケーリング
- E. フッ化物歯面塗布



問題 36 F-3-4)-(2)-③ : 支台装置とポンティックの選択、特徴および製作法を説明できる。

ブリッジの咬合面観を写真に示す。

ポンティック咬合面の頬舌径を写真のように設定する理由はどれか。

- A. 口腔感覚の改善
- B. 発音機能の改善
- C. 連結強度の改善
- D. 咀嚼効率の改善
- E. 咬合圧負担の軽減



問題 37 F-3-4)-(3)-⑦：可撤性義歯の構成要素を説明できる。

上顎部分床義歯の写真を示す。

間接維持装置として機能しているのはどれか。

- A. 双子鉤
- B. ローチ鉤
- C. 延長腕鉤
- D. エーカーズ鉤
- E. コンビネーション鉤



問題 38 F-3-4)-(3)-⑨：下顎運動の記録法を説明できる。

咬合器とその一部を写真に示す。

顎路調節を行うために必要な処置はどれか。

- A. バントグラフ記録
- B. ゴシックアーチ描記
- C. 嚙下法による咬合採得
- D. テンチの歯型の採得
- E. チェックバイト記録



問題 39 F-4-1)-④ : 不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。

7歳の女児。上顎正中の空隙を主訴に来院した。初診時の口腔内写真とエックス線写真を示す。

適切な対応はどれか。

- A. 経過観察
- B. 筋機能療法
- C. 上唇小帯切除
- D. 上顎側切歯部の保隙処置
- E. 矯正装置による空隙の閉鎖



問題 40 F-4-1)-⑦ : 矯正治療に必要な力学を説明できる。

矯正装置を写真に示す。

上顎中切歯の移動様式で正しいのはどれか。

- A. 挺出
- B. 圧下
- C. トルク
- D. 傾斜移動
- E. 歯体移動



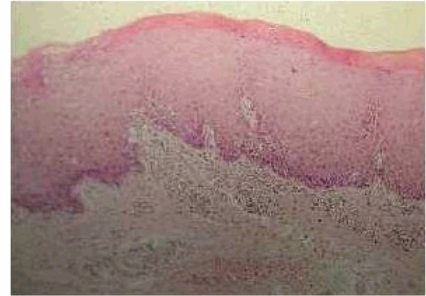
問題 4 1 - 1 F-2-4)-(3)-⑮ : 白板症の特徴、症状および治療法を説明できる。

連問 (1/2)

34歳の女性。口腔粘膜の異常を主訴に来院した。約1年前に舌の変化に気付いたが放置していたところ、最近になって、増大傾向を示すようになったという。圧痛はなく、硬結も認められない。病変は拭っても取れない。初診時の口腔内写真と生検時の病理組織像(中拡大)を示す。

診断名はどれか。

- A. 乳頭腫
- B. 白板症
- C. 扁平苔癬
- D. 扁平上皮癌
- E. 口腔カンジダ症



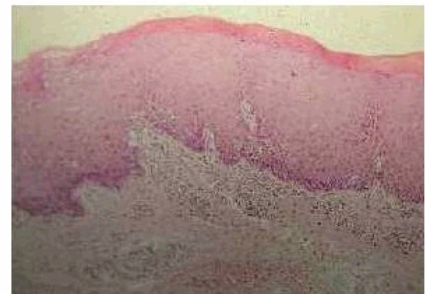
問題 4 1 - 2 F-2-4)-(3)-⑮ : 白板症の特徴、症状および治療法を説明できる。

連問 (2/2)

34歳の女性。口腔粘膜の異常を主訴に来院した。約1年前に舌の変化に気付いたが放置していたところ、最近になって、増大傾向を示すようになったという。圧痛はなく、硬結も認められない。病変は拭っても取れない。初診時の口腔内写真と生検時の病理組織像(中拡大)を示す。

診断根拠となった白板症の特徴的な病理組織所見はどれか。

- A. 上皮表層の過角化
- B. 細胞の強い異型性
- C. 上皮基底膜の消失
- D. 上皮下への胞巣状の発育
- E. 上皮下の強い炎症性細胞浸潤



問題 4 2 - 1 F-3-4)-(1)-② : 修復材料と修復法の種類と特徴およびその適応を説明できる。

連問 (1/2)

26歳の女性。上1の破折を主訴に来院した。審美歯冠修復処置を行うことにした。補綴物の製作過程で、口腔内に試適後の製作物を作業模型上に戻した。製作中の一過程を写真に示す。

製作するのはどれか。

- A. 全部鑄造冠
- B. 陶材焼付鑄造冠
- C. 硬質レジン前装鑄造冠
- D. 陶材ジャケットクラウン
- E. 硬質レジンジャケットクラウン



問題 4 2 - 2 F-3-4)-(1)-② : 修復材料と修復法の種類と特徴およびその適応を説明できる。

連問 (2/2)

26歳の女性。上1の破折を主訴に来院した。審美歯冠修復処置を行うことにした。補綴物の製作過程で、口腔内に試適後の製作物を作業模型上に戻した。製作の一過程を写真に示す。

金合金を用い、陶材焼付鑄造冠のメタルフレームを製作した。

陶材の焼付け強さを高くする金属元素はどれか。

- A. Au
- B. Pd
- C. Ag
- D. Sn
- E. Pt



問題 43-1 F-3-3)-(3)-② : 歯周疾患の診断と治療方針を説明できる。

連問 (1/4)

50歳の女性。右上の奥歯が食事のときに痛むことを主訴に来院した。1週前に異常に気付いたが、放置していたところ自発痛が生じてきたという。歯肉に発赤と腫脹は認められない。┌」に強い打診痛が認められた。┌」は全部鑲造冠が装着されている。動揺度は1度で、歯周ポケットは4mmであった。

次に行うべき検査はどれか。

- A. 化学診
- B. 透照診
- C. 歯髄電気診
- D. エックス線検査
- E. インピーダンス測定検査

問題 43-2 F-3-3)-(3)-② : 歯周疾患の診断と治療方針を説明できる。

連問 (2/4)

50歳の女性。右上の奥歯が食事のときに痛むことを主訴に来院した。1週前に異常に気付いたが、放置していたところ自発痛が生じてきたという。歯肉に発赤と腫脹は認められない。┌」に強い打診痛が認められた。┌」は全部鑲造冠が装着されている。動揺度は1度で、歯周ポケットは4mmであった。

エックス線検査を行うことにした。

適切な撮影法はどれか。

- A. 咬合法
- B. 咬翼法
- C. 二等分法
- D. 偏心撮影
- E. Waters 撮影法

問題 4 3 - 3 F-3-3)-(3)-② : 歯周疾患の診断と治療方針を説明できる。

連問 (3/4)

50歳の女性。右上の奥歯が食事のときに痛むことを主訴に来院した。1週前に異常に気付いたが、放置していたところ自発痛が生じてきたという。歯肉に発赤と腫脹は認められない。2に強い打診痛が認められた。2は全部铸造冠が装着されている。動揺度は1度で、歯周ポケットは4mmであった。

二等分法撮影した2のエックス線写真を示す。

適切な疾患名はどれか。

- A. 歯肉膿瘍
- B. 慢性潰瘍性歯髓炎
- C. 急性化膿性歯髓炎
- D. 慢性根尖性歯周炎
- E. 急性根尖性歯周炎



問題 4 3 - 4 F-3-3)-(3)-② : 歯周疾患の診断と治療方針を説明できる。

連問 (4/4)

50歳の女性。右上の奥歯が食事のときに痛むことを主訴に来院した。1週前に異常に気付いたが、放置していたところ自発痛が生じてきたという。歯肉に発赤と腫脹は認められない。2に強い打診痛が認められた。2は全部铸造冠が装着されている。動揺度は1度で、歯周ポケットは4mmであった。

診察の結果、2の急性根尖性歯周炎と診断された。2のエックス線写真を示す。

適切な処置はどれか。

- A. 生活歯髓切断
- B. 抜髄
- C. 根管治療
- D. 根尖切除術
- E. 抜歯



問題 4 4 - 1 F-2-4)-(2)-④ : 炎症の診断に必要な検査法を説明できる。

連問 (1/4)

28歳の男性。下顎左側部の疼痛と腫脹を主訴に来院した。5日前に下顎左側
 大白歯部に違和感が出現し、2日前から嚙下痛が強く、全身倦怠感もあるとい
 う。腫脹部には波動を触知しない。開口量は15mm、体温は37.9℃であった。初診
 時の顔貌写真とエックス線写真を示す。

予想される血液検査結果はどれか。

- A. ALPの上昇
- B. CRPの低下
- C. 赤沈の遅延
- D. 白血球数の増加
- E. 好中球の核の右方移動



問題 4 4 - 2 F-2-4)-(2)-⑧ : 主な炎症（舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽
 骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髓炎、歯性上顎洞炎等）を概説でき
 る。

連問 (2/4)

28歳の男性。下顎左側部の疼痛と腫脹を主訴に来院した。5日前に下顎左側
 大白歯部に違和感が出現し、2日前から嚙下痛が強く、全身倦怠感もあるとい
 う。腫脹部には波動を触知しない。開口量は15mm、体温は37.9℃であった。初診
 時の顔貌写真とエックス線写真を示す。

検査の結果、白血球数は11,000/ μ l と上昇していた。

疑われる疾患はどれか。

- A. 歯肉癌
- B. 頬部膿瘍
- C. 智歯周囲炎
- D. 歯性上顎洞炎
- E. 慢性硬化性骨髓炎



問題 4 4 - 3 F-2-4)-(2)-⑦ : 一般的な消炎療法の意義と特徴を説明できる。

連問 (3/4)

28歳の男性。下顎左側部の疼痛と腫脹を主訴に来院した。5日前に下顎左側
大白歯部に違和感が出現し、2日前から嚙下痛が強く、全身倦怠感もあるとい
う。腫脹部には波動を触知しない。開口量は15mm、体温は37.9℃であった。初診
時の顔貌写真とエックス線写真を示す。検査の結果、白血球数は11,000/ μ lと
上昇していた。

下顎左側智歯周囲炎と診断した。

最初に行う対応はどれか。

- A. 温電法
- B. 開口訓練
- C. 切開・排膿
- D. 抗菌薬の投与
- E. 原因歯の抜去



問題 4 4 - 4 F-2-4)-(2)-⑦ : 一般的な消炎療法の意義と特徴を説明できる。

連問 (4/4)

28歳の男性。下顎左側部の疼痛と腫脹を主訴に来院した。5日前に下顎左側
大白歯部に違和感が出現し、2日前から嚙下痛が強く、全身倦怠感もあるとい
う。腫脹部には波動を触知しない。開口量は15mm、体温は37.9℃であった。初診
時の顔貌写真とエックス線写真を示す。検査の結果、白血球数は11,000/ μ lと
上昇していた。

下顎左側智歯周囲炎と診断し、抗菌薬を投与することにした。

抗菌薬の選択に際し、考慮すべき菌種はどれか。

- A. Enterococcus
- B. Fusobacterium
- C. Lactobacillus
- D. Staphylococcus
- E. Streptococcus



問題 45-1 F-3-3)-(2)-①：歯髄・歯尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。

連問 (1/2)

テーマ：歯髄疾患の治療法

17歳の男子。67の疼痛を主訴に来院した。1か月前から、冷たいものにこじみっていたが放置していたところ、昨日から拍動性の疼痛が生じ、温刺激で憎悪するという。強度の打診痛を認め、歯髄電気診で生活反応を示した。初診時のエックス線写真を示す。

適切な処置はどれか。

- A. 間接覆髄法
- B. 暫間的間接覆髄法(IPC法)
- C. 直接覆髄法
- D. 生活歯髄切断法
- E. 失活歯髄切断法
- F. 麻酔抜髄法
- G. 感染根管治療
- H. 抜歯



問題 45-2 F-3-3)-(2)-①：歯髄・歯尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。

連問 (2/2)

テーマ：歯髄疾患の治療法

41歳の女性。17のインレーの脱離を主訴に来院した。自発痛はなく、一過性の冷水痛があり、歯髄電気診で閾値の低下を認めた。感染象牙質を除去したところ露髄は認めなかった。初診時のエックス線写真を示す。

適切な処置はどれか。

- A. 間接覆髄法
- B. 暫間的間接覆髄法(IPC法)
- C. 直接覆髄法
- D. 生活歯髄切断法
- E. 失活歯髄切断法
- F. 麻酔抜髄法
- G. 感染根管治療
- H. 抜歯



問題 4 6 - 1 F-4-2)-⑧: 保隙処置の目的と種類、適応症および留意点を説明できる。

連問 (1/2)

テーマ: 保隙装置

5歳の女兒。E1の強度の咬合痛を主訴に来院した。急性根尖性歯周炎と診断し、保存不可能なため抜歯した。他に欠損はない。保隙装置を装着することにした。初診時のエックス線写真を示す。

適切な装置はどれか。

- A. バンドバー
- B. インレーバー
- C. バンドループ
- D. 可撤保隙装置
- E. クラウンループ
- F. ディスタルシュー
- G. Nanceのホールディングアーチ



問題 4 6 - 2 F-4-2)-⑧: 保隙処置の目的と種類、適応症および留意点を説明できる。

連問 (2/2)

テーマ: 保隙装置

8歳の男児。定期検診のため来院した。模型分析の結果、リーウエスペースの減少が予測される。初診時の口腔内写真を示す。

適切な装置はどれか。

- A. バンドバー
- B. インレーバー
- C. バンドループ
- D. 可撤保隙装置
- E. クラウンループ
- F. ディスタルシュー
- G. Nanceのホールディングアーチ



問題 47-1 F-3-3)-(3)-① : 歯周疾患の症状を説明できる。

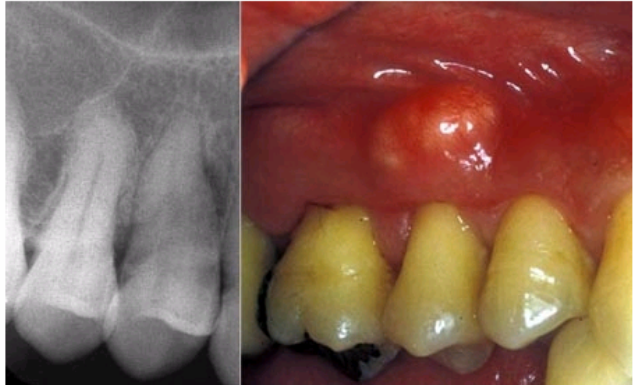
連問 (1/4)

テーマ: 歯肉の腫脹

48歳の男性。5J 頬側歯肉の膨隆を主訴に来院した。数年前から気付いていたが、大きさと形に変化がないので放置していたという。自発痛と圧痛はなく、骨様硬である。初診時のエックス線写真と口腔内写真を示す。

最も疑われるのはどれか。

- A. 黒色腫
- B. 血管腫
- C. 歯牙腫
- D. 骨隆起
- E. 白板症
- F. 埋伏歯
- G. 粘液嚢胞
- H. 歯槽膿瘍
- I. 歯根嚢胞
- J. 辺縁性歯周炎
- K. 増殖性歯肉炎



問題 47-2 F-3-3)-(3)-① : 歯周疾患の症状を説明できる。

連問 (2/4)

テーマ: 歯肉の腫脹

44歳の女性。下顎前歯部歯肉の腫脹を主訴に来院した。数年前から腫脹に気付いていたが放置していたという。2・4・2の歯周ポケットは6~8mmであった。初診時の口腔内写真とエックス線写真を示す。

最も疑われるのはどれか。

- A. 黒色腫
- B. 血管腫
- C. 歯牙腫
- D. 骨隆起
- E. 白板症
- F. 埋伏歯
- G. 粘液嚢胞
- H. 歯槽膿瘍
- I. 歯根嚢胞
- J. 辺縁性歯周炎
- K. 増殖性歯肉炎



問題 47-3 F-3-3)-(2)-① : 歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。

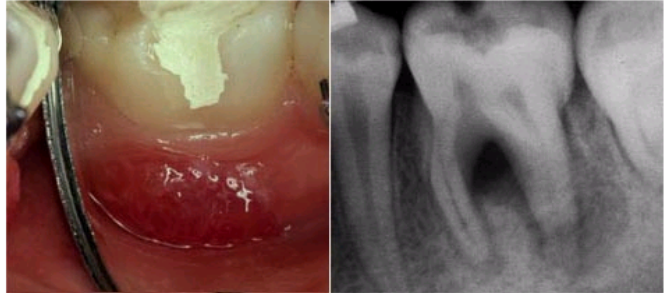
連問 (3/4)

テーマ: 歯肉の腫脹

17歳の女子。「右側歯肉の腫脹を主訴に来院した。数日前から腫脹してきたという。自発痛はないが打診痛があり、波動を触知し圧痛が認められる。ポケット深さは2mmで、歯髄電気診で生活反応を示さなかった。治療中の口腔内写真(ミラー像)とエックス線写真を示す。

最も疑われるのはどれか。

- A. 黒色腫
- B. 血管腫
- C. 歯牙腫
- D. 骨隆起
- E. 白板症
- F. 埋伏歯
- G. 粘液嚢胞
- H. 歯槽膿瘍
- I. 歯根嚢胞
- J. 辺縁性歯周炎
- K. 増殖性歯肉炎



問題 47-4 F-3-3)-(3)-① : 歯周疾患の症状を説明できる。

連問 (4/4)

テーマ: 歯肉の腫脹

52歳の女性。上顎前歯部歯肉の腫脹を主訴に来院した。数年前から腫脹に気付いていたが放置していたという。6年前から高血圧症で降圧剤を服用している。発赤はみられず弾性硬で、歯周ポケットは3mmであった。初診時の口腔内写真とエックス線写真を示す。

最も疑われるのはどれか。

- A. 黒色腫
- B. 血管腫
- C. 歯牙腫
- D. 骨隆起
- E. 白板症
- F. 埋伏歯
- G. 粘液嚢胞
- H. 歯槽膿瘍
- I. 歯根嚢胞
- J. 辺縁性歯周炎
- K. 増殖性歯肉炎



問題 48-1 F-3-4)-(2)-④ : 橋義歯における支台歯形成の方法を説明できる。

連問 (1/4)

テーマ: 歯冠修復処置

35歳の女性。④ 5 ⑤ブリッジの脱離を主訴に来院した。自覚症状は見られない。⑥の支台装置はメタルコアごと脱離しており、④は歯髄電気診で生活反応を示した。初診時の口腔内写真(ミラー像)を示す。

脱離したブリッジの ④ 支台装置はどれか。

- A. ポーセレンジャケットクラウン
- B. ポーセレンラミネートベニア
- C. 全部铸造冠
- D. レジン前装铸造冠
- E. レジンジャケットクラウン
- **F. メタルアンレー**
- G. ビンレッジ
- H. プロキシマルハーフクラウン
- I. コンポジットレジン修復
- J. ポストクラウン



問題 48-2 F-3-4)-(2)-④ : 橋義歯における支台歯形成の方法を説明できる。

連問 (2/4)

テーマ: 歯冠修復処置

23歳の女性。② 欠損部の治療を希望して来院した。自覚症状は特に見られない。① ③は動揺度検査で0度を示し、歯髄電気診で生活反応を示した。④ ⑤ ⑥ 固定性ブリッジによる治療を行うこととした。初診時の口腔内写真(唇面観とミラー像の咬合面観)を示す。

歯質削除量に配慮した支台装置はどれか。

- A. ポーセレンジャケットクラウン
- B. ポーセレンラミネートベニア
- C. 全部铸造冠
- D. レジン前装铸造冠
- E. レジンジャケットクラウン
- F. メタルアンレー
- **G. ビンレッジ**
- H. プロキシマルハーフクラウン
- I. コンポジットレジン修復
- J. ポストクラウン



問題 48-3 F-3-4)-(1)-②: 修復材料と修復法の種類と特徴およびその適応を説明できる。

連問 (3/4)

テーマ: 歯冠修復処置

53歳の男性。審美障害を主訴に来院した。5年前に装着した「1」修復物が破損したという。自覚症状は特に見られない。動揺度検査では1度を示した。初診時の口腔内写真(唇面観とミラー像の咬合面観)を示す。

破損した「1」の修復物はどれか。

- A. ポーセレンジャケットクラウン
- B. ポーセレンラミネートベニア
- C. 全部鑄造冠
- D. レジン前装鑄造冠
- E. レジンジャケットクラウン
- F. メタルアンレー
- G. ピンレッジ
- H. プロキシマルハーフクラウン
- I. コンポジットレジン修復
- J. ポストクラウン



問題 48-4 F-3-4)-(1)-②: 修復材料と修復法の種類と特徴およびその適応を説明できる。

連問 (4/4)

テーマ: 歯冠修復処置

19歳の女性。上顎前歯部の疼痛を主訴に来院した。6か月前から「1」歯頸部にブラッシング時の軽度擦過痛を認めたが放置していたところ、3日前から同部に冷水痛を認めるという。歯髄電気診で生活反応を示した。初診時の口腔内写真を示す。

「1」の修復処置で歯質削除量に配慮したのはどれか。

- A. ポーセレンジャケットクラウン
- B. ポーセレンラミネートベニア
- C. 全部鑄造冠
- D. レジン前装鑄造冠
- E. レジンジャケットクラウン
- F. メタルアンレー
- G. ピンレッジ
- H. プロキシマルハーフクラウン
- I. コンポジットレジン修復
- J. ポストクラウン

